

内訳概況書の達人(平成16年度以降)

from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書) 運用ガイド

この度は、「内訳概況書の達人(平成16年度以降) from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「内訳概況書の達人(平成16年度以降) from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)」は、弥生株式会社の「弥生会計」の会計データを「内訳概況書の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「内訳概況書の達人(平成16年度以降) from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
パターン①「達人Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①	
「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	11
パターン②	
「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	12
5.操作方法	13
パターン①	
「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	13
パターン②	
「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	20
6.連動対象項目	28
「弥生会計」から連動するデータ(連動元)	28
「内訳概況書の達人」に連動するデータ(連動先)	29
[残高取込]画面	30
科目内訳明細書	31
7.アンインストール方法	36
8.著作権・免責等に関する注意事項	37

1.対応製品

「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」に対応するNTTデータの対応製品及び弥生の対応製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTTデータ対応製品	内訳概況書の達人（平成16年度以降用） Professional Edition
	内訳概況書の達人（平成16年度以降用） Standard Edition
弥生対応製品	弥生会計 17 AE
	弥生会計 17 スタンダード
	弥生会計 17 プロフェッショナル
	弥生会計 17 プロフェッショナル 2 ユーザー
	弥生会計 17 ネットワーク

2.動作環境

「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」に必要な動作環境は「1.対応製品」（P.3）に記載の「弥生対応製品」と同様です。また、インストールにはハードディスクの空き容量が20MB必要です。



注意

「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」のプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」（P.3）に記載の「弥生対応製品」のいずれかがインストールされている必要があります。

3.インストール方法

「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と、「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。



注意

インストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

パターン①

「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



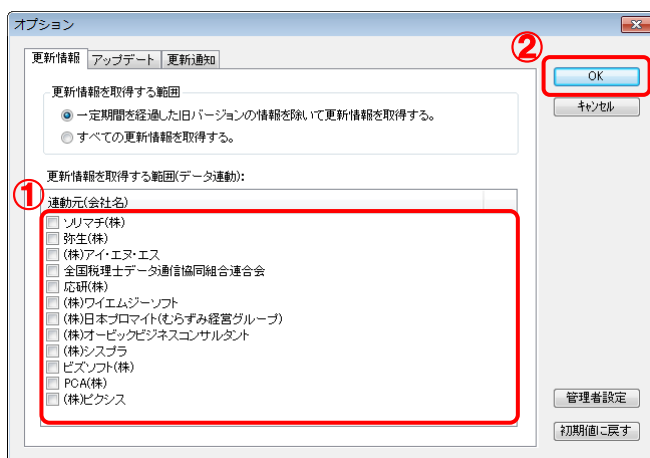
「アップデート」画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



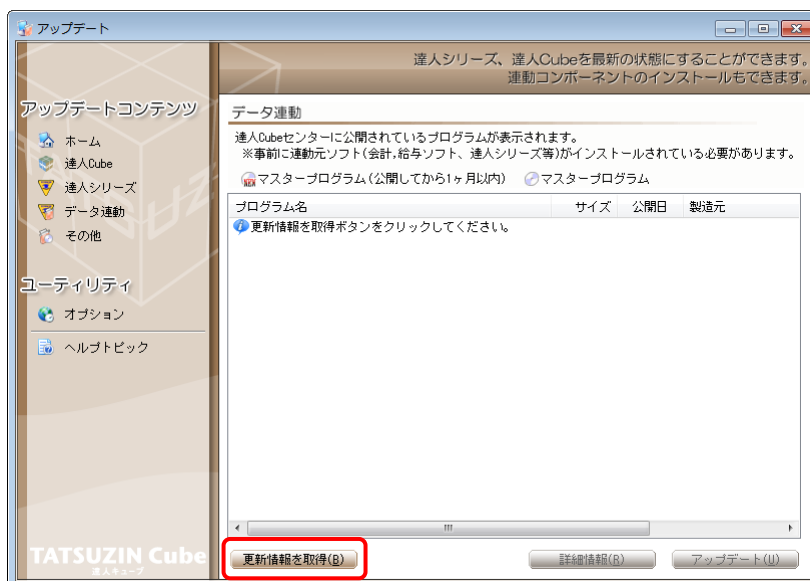
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



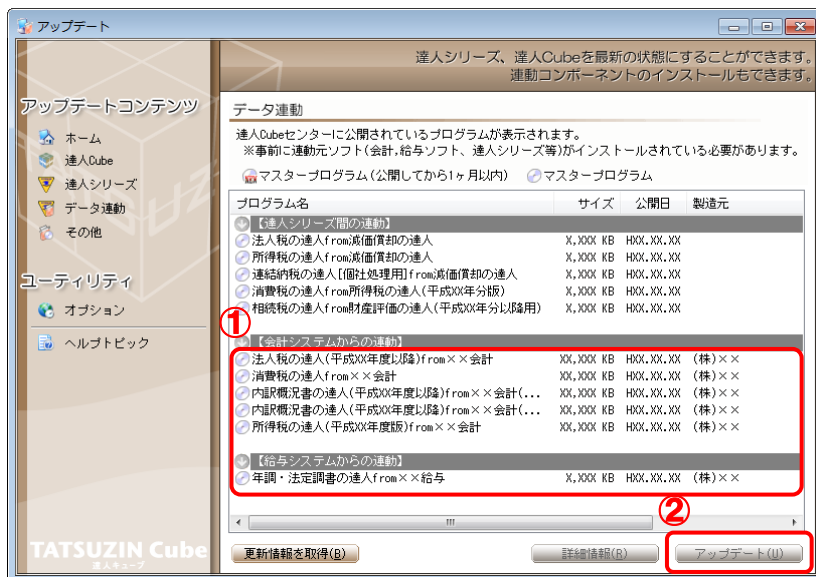
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。

7. [インストール開始]ボタンをクリックします。

[使用許諾契約] 画面が表示されます。

8. 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]をクリックしてチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の選択] 画面が表示されます。

9. [次へ]ボタンをクリックします。

[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。

10. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

11. [弥生シリーズセットアップ]画面に戻ったら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)」のインストールは完了です。

パターン②

「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトのページ
(<http://www.tatsuzin.info/rendousoft/>)を開きます。



2. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。

該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。

3. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。

画面の一番下に通知バーが表示されます。

4. [保存]ボタンの右端にある[▼]ボタンをクリックし、表示されるメニュー[名前を付けて保存]をクリックします。

[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

5. [保存する場所]を指定し、[保存]ボタンをクリックします。

[保存する場所] に指定した場所に、ファイルがダウンロードされます。

- 6.** 手順5でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。
- 7.** [インストール開始]ボタンをクリックします。
[使用許諾契約] 画面が表示されます。
- 8.** 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]をクリックしてチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。
[インストール先の選択] 画面が表示されます。
- 9.** [次へ]ボタンをクリックします。
[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。
- 10.** [インストール]ボタンをクリックします。
インストールが開始します。
- 11.** [弥生シリーズセットアップ]画面に戻ったら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」のインストールは完了です。

4.運用方法

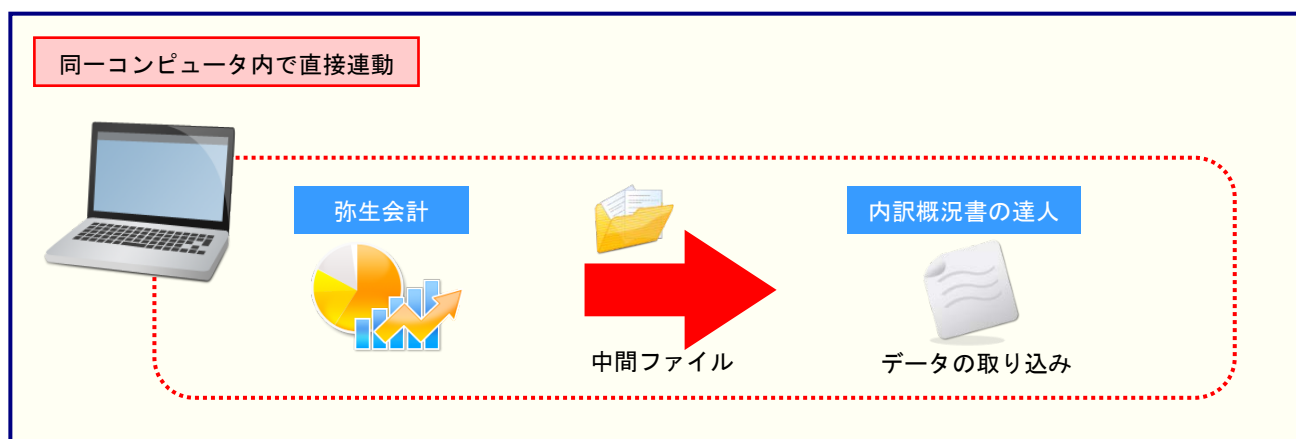
「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」は、「弥生会計」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

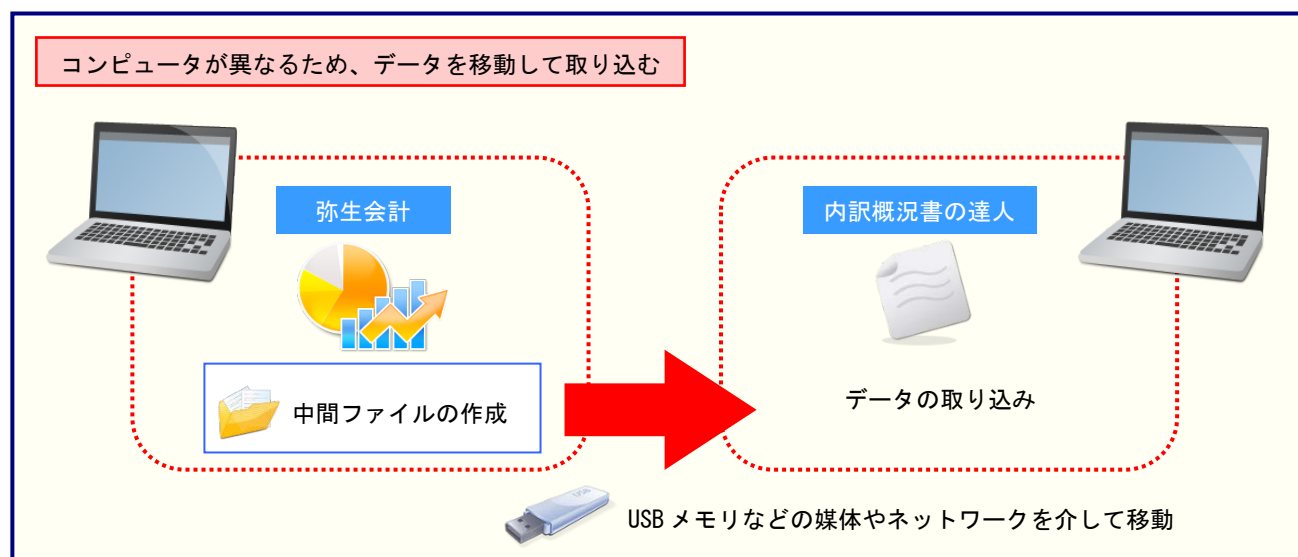
「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」で作成された中間ファイルを直接「内訳概況書の達人」に取り込みます。



パターン②

「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「弥生会計」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「内訳概況書の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



5.操作方法

「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」を使って、以下の手順で連動します。

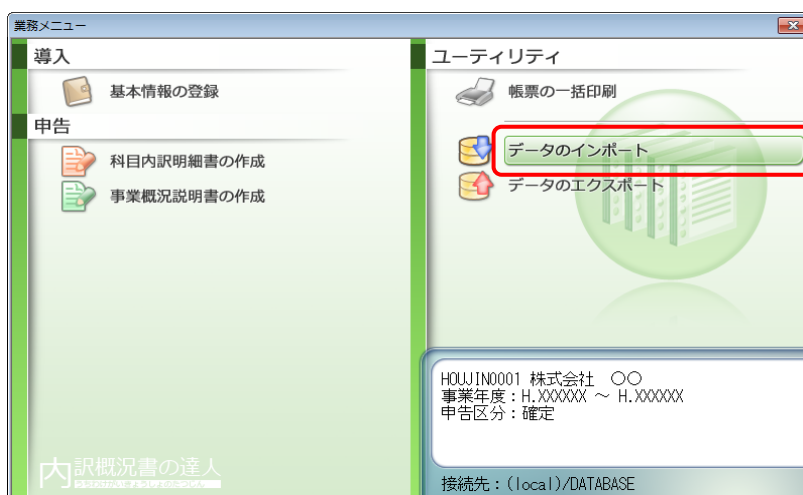
事前に「6.連動対象項目」（P.28）を必ずお読みください。

操作手順は、「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

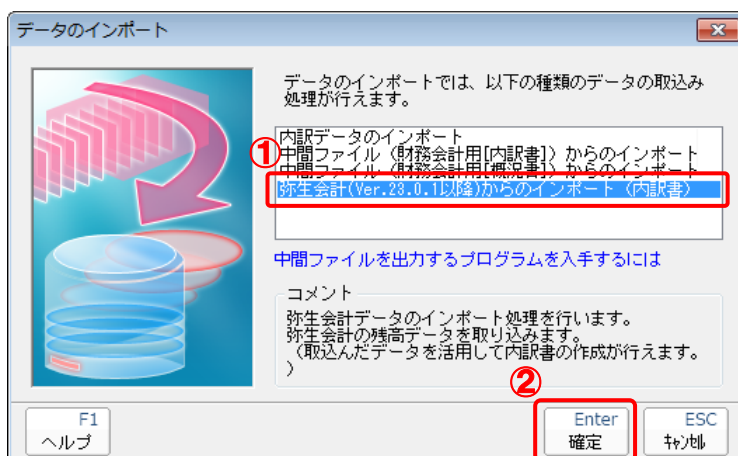
「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

1. 「内訳概況書の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



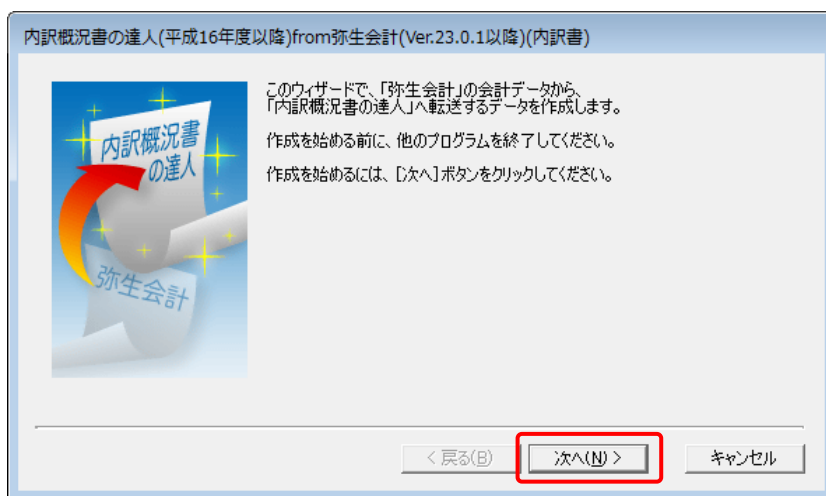
[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [弥生会計(Ver.23.0.1以降)からのインポート(内訳書)]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



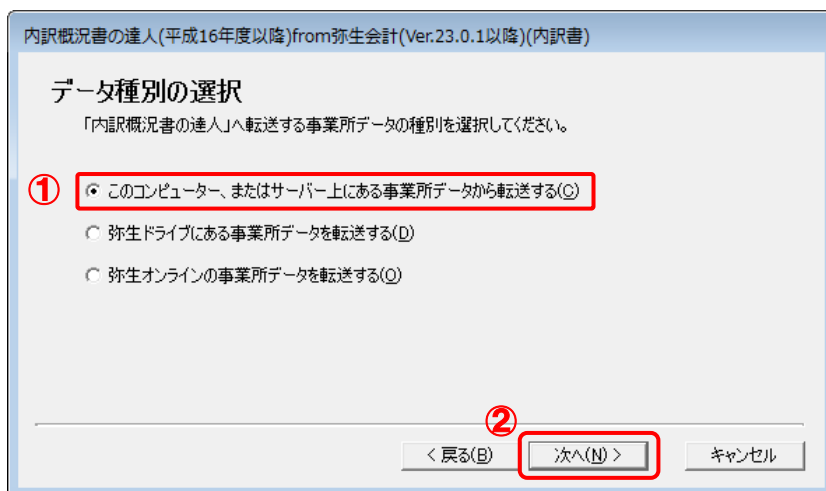
[内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)]画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



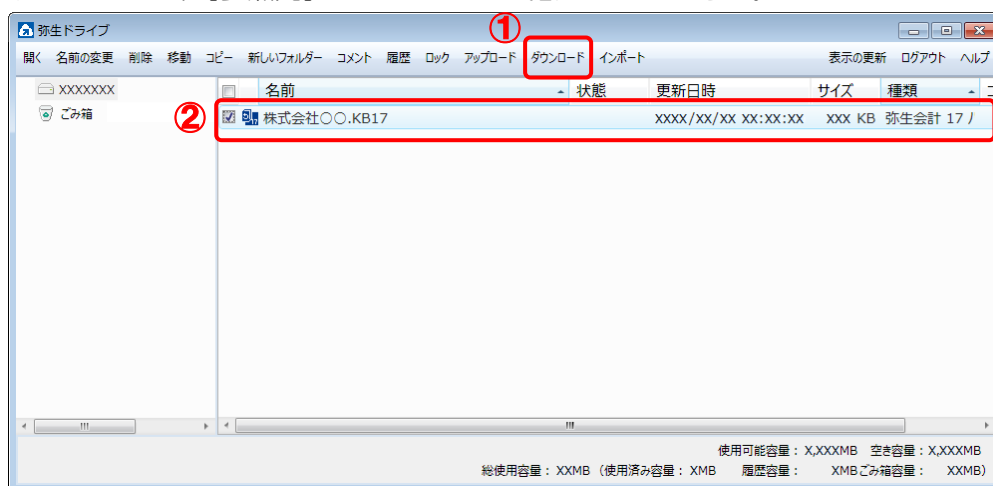
[データ種別の選択]画面が表示されます。

4. [このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[データの選択] 画面が表示されます。

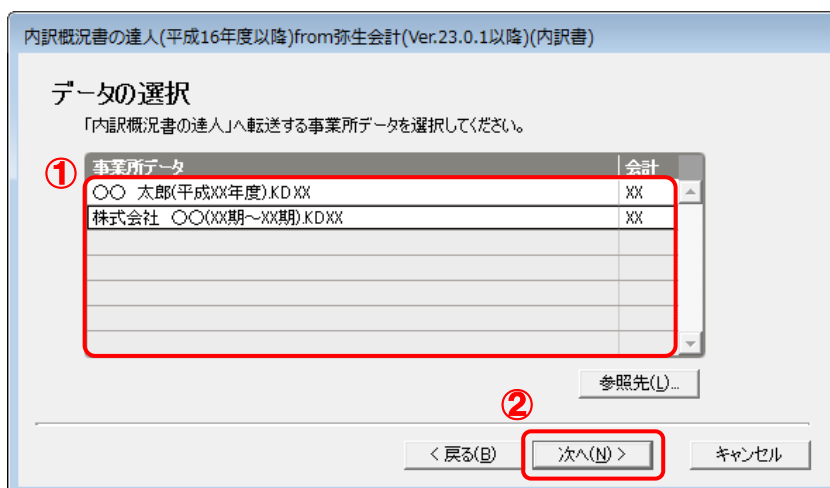
- ※ 弥生会計 17がインストールされている場合、弥生会計 17、弥生会計 16、弥生会計 15、弥生会計 14、弥生会計 13、弥生会計 12、弥生会計 11、弥生会計 10で作成された事業所データを選択できます。
- ※ [弥生オンラインの事業所データを転送する] は、弥生会計 17 AEの場合のみ表示されます。
- ※ 弥生ドライブ上のデータを選択したい場合は、[弥生ドライブにある事業所データを転送する] を選択します。弥生ドライブが起動するので、連動する事業所データをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



※ 弥生会計 オンラインのデータを選択したい場合は、[弥生オンラインの事業所データを転送する]を選択します。弥生 マイポータルが起動するので、連動するデータをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



5. 「内訳概況書の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し①)、[次へ] ボタンをクリックします②)。



[処理年度の選択] 画面が表示されます。

6. 手順5で選択したデータの処理年度をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

処理年度を選択

「内訳概況書の達人」へ転送する処理年度を選択してください。

決算期	会計期間
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX~H.XX/XX/XX

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

[集計条件の設定] 画面が表示されます。

※ 手順5で選択したデータの会計期間が複数存在しない場合は、手順6の画面は表示されません。手順7に進んでください。

7. 「弥生会計」から出力するデータの[経理処理方式]と[決算の種類]を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

集計条件の設定

経理処理方式と決算の種類を設定してください。

①

経理処理方式:

☒ 税抜(U) ☐ 税込(K)

決算の種類:

☒ 本決算(H) ☐ 中間決算(上半期決算)(C)

事業所データを免税に設定している場合は、決算の種類のみ選択してください。

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

[転送データの作成] 画面が表示されます。

※ 画面は「経理処理方式：税抜」「決算の種類：本決算」を選択しています。

8. [作成開始]ボタンをクリックします。

内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

転送データの作成

作成するデータの名称を入力してください。

場所: C:\Users\tatsuzin\AppData\Local\Temp\

名称(N): Ug13TEMP3

参照(S)...

[作成開始]ボタンをクリックすると、「内訳概況書の達人」へ転送するデータを作成します。

< 戻る(B) **作成開始** キャンセル

[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

9. [完了]ボタンをクリックします。

内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

転送データの作成完了

「内訳概況書の達人」へ転送するデータの作成を完了しました。

[完了]ボタンをクリックしてください。

< 戻る(B) **完了** キャンセル

[インポートデータ確認] 画面が表示されます。

10. [閉じる]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「内訳概況書の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動直後は「残高取込」画面にのみデータが連動されています。連動後には、「内訳概況書の達人」側で残高取込を行う必要があります。残高取込を各帳票で行うと、各帳票上にデータが取り込まれ表示されます。詳細な手順については『内訳概況書の達人 運用ガイド』－「帳票の作成」－「科目内訳明細書を作成する」－「残高データを使って明細を作成する」をご確認ください。

パターン②

「弥生会計」と「内訳概況書の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

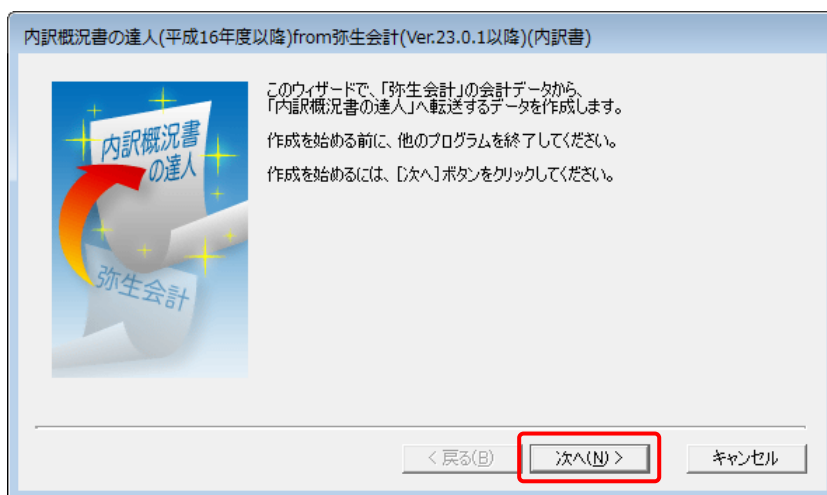
1. Windowsのスタートメニュー[すべてのプログラム]－[達人シリーズ]－[連動コンポーネント]－「内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)」をクリックします。

〔内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)〕画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] － [達人シリーズ] － [連動コンポーネント] － [内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)] をクリックします。

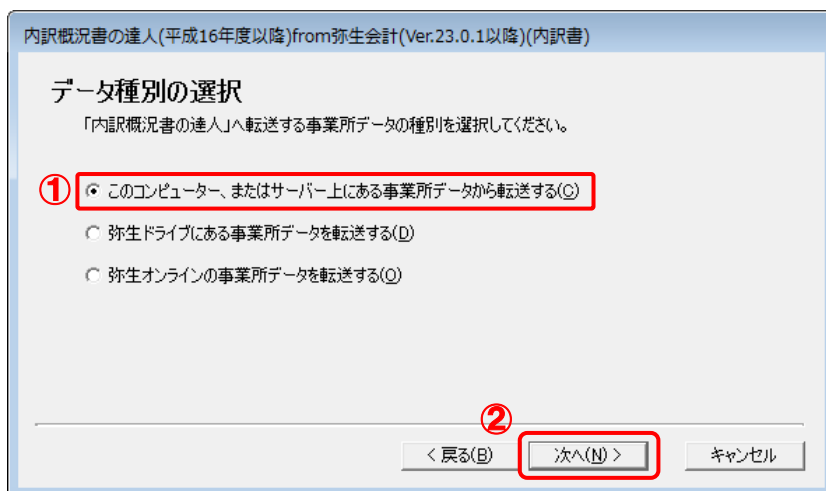
Windows 8.1の場合は、[アプリ] 画面に表示されている〔内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)〕 をクリックします。

2. [次へ]ボタンをクリックします。



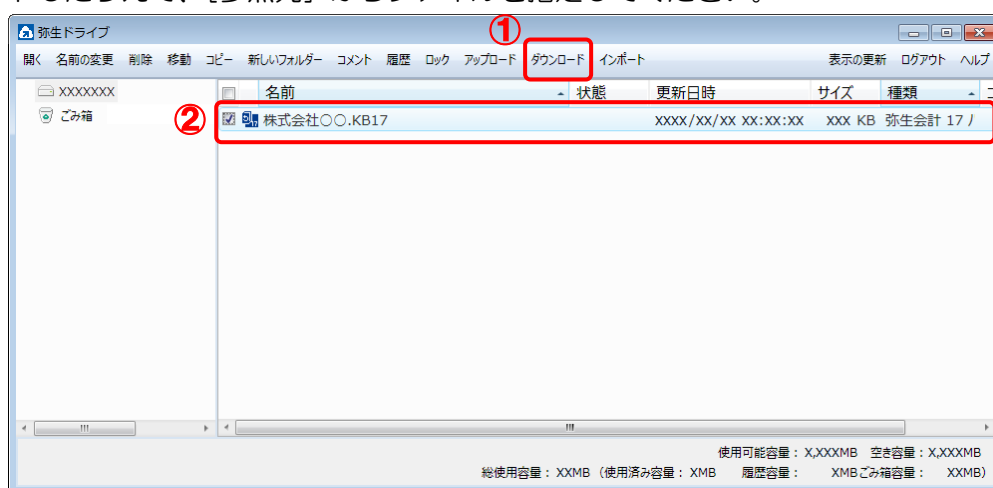
〔データ種別の選択〕画面が表示されます。

3. [このコンピューター、またはサーバー上にある事業所データから転送する]をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。



[データの選択] 画面が表示されます。

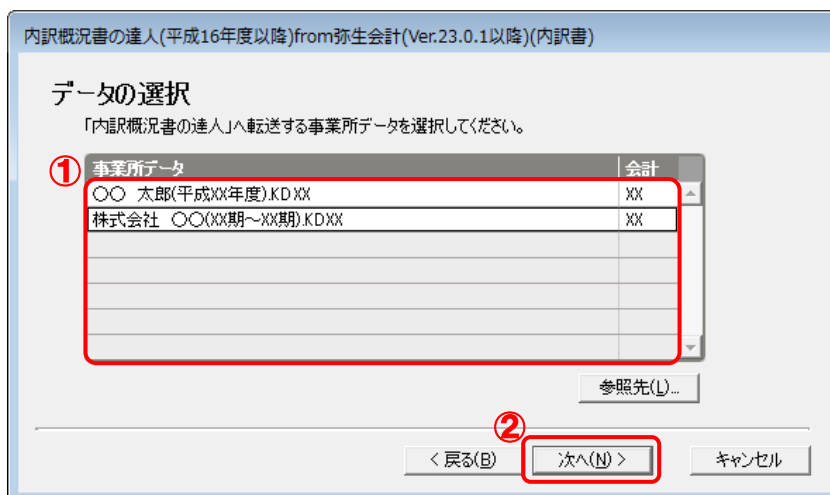
- ※ 弥生会計 17がインストールされている場合、弥生会計 17、弥生会計 16、弥生会計 15、弥生会計 14、弥生会計 13、弥生会計 12、弥生会計 11、弥生会計 10で作成された事業所データを選択できます。
- ※ [弥生オンラインの事業所データを転送する] は、弥生会計 17 AEの場合のみ表示されます。
- ※ 弥生ドライブ上のデータを選択したい場合は、[弥生ドライブにある事業所データを転送する] を選択します。弥生ドライブが起動するので、連動する事業所データをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



※ 弥生会計 オンラインのデータを選択したい場合は、[弥生オンラインの事業所データを転送する] を選択します。弥生 マイポータルが起動するので、連動するデータをダウンロードしたうえで、[参照先] からファイルを指定してください。



4. 「内訳概況書の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し(①)、[次へ] ボタンをクリックします(②)。



[処理年度の選択] 画面が表示されます。

5. 手順4で選択したデータの処理年度をクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

処理年度を選択

「内訳概況書の達人」へ転送する処理年度を選択してください。

決算期	会計期間
第XX期	H.XX/XX/XX～H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX～H.XX/XX/XX
第XX期	H.XX/XX/XX～H.XX/XX/XX

①

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

[集計条件の設定] 画面が表示されます。

※ 手順4で選択したデータの会計期間が複数存在しない場合は、手順5の画面は表示されません。手順6に進んでください。

6. 「弥生会計」から出力するデータの[経理処理方式]と[決算の種類]を設定し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)

集計条件の設定

① 経理処理方式と決算の種類を設定してください。

経理処理方式:

☒ 税抜(U) ☐ 税込(K)

決算の種類:

☒ 本決算(H) ☐ 中間決算(上半期決算)(C)

事業所データを免税に設定している場合は、決算の種類のみ選択してください。

②

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

[転送データの作成] 画面が表示されます。

※ 画面は「経理処理方式：税抜」「決算の種類：本決算」を設定しています。

7. [場所]と[名称]を確認し①、[作成開始]ボタンをクリックします②。

[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

※ 画面の[場所]の初期値はOSにより異なります。[C:\Users¥(ユーザー名)\Documents]

又は [C:\Documents and Settings¥(ユーザー名)\My Documents] です。

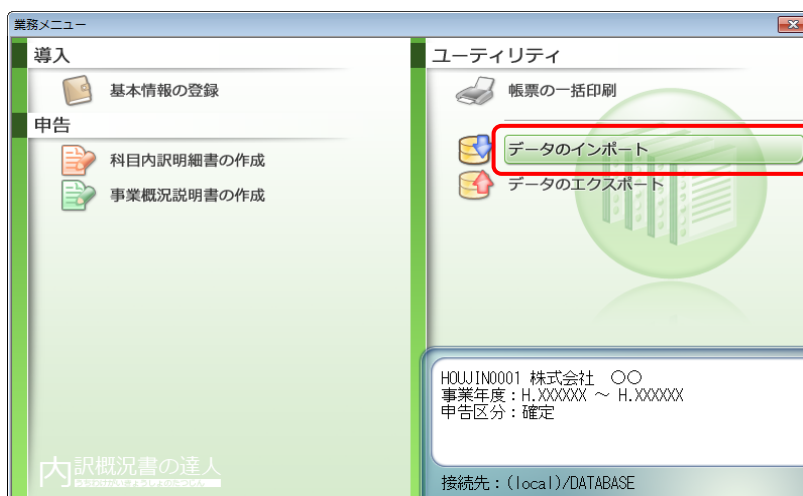
※ [参照] ボタンをクリックして表示される画面から変更できます。

8. [完了]ボタンをクリックします。

手順7で指定した [場所] に、中間ファイルが作成されます。

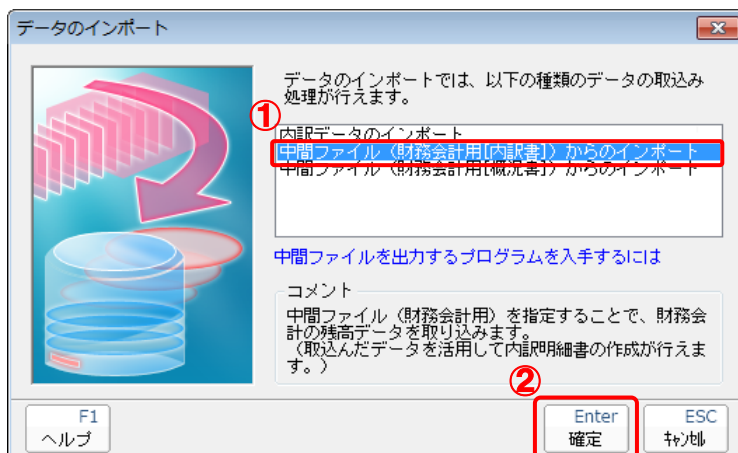
9. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「内訳概況書の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

- 10.** 「内訳概況書の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



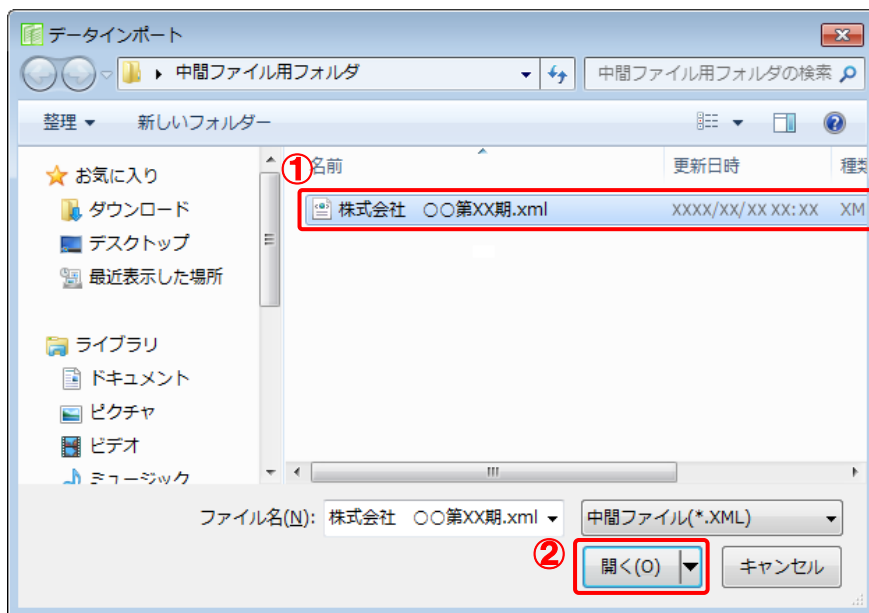
[データのインポート] 画面が表示されます。

- 11.** [中間ファイル(財務会計用[内訳書])からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[データインポート] 画面が表示されます。

12. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



[インポートデータ確認] 画面が表示されます。

13. [閉じる]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

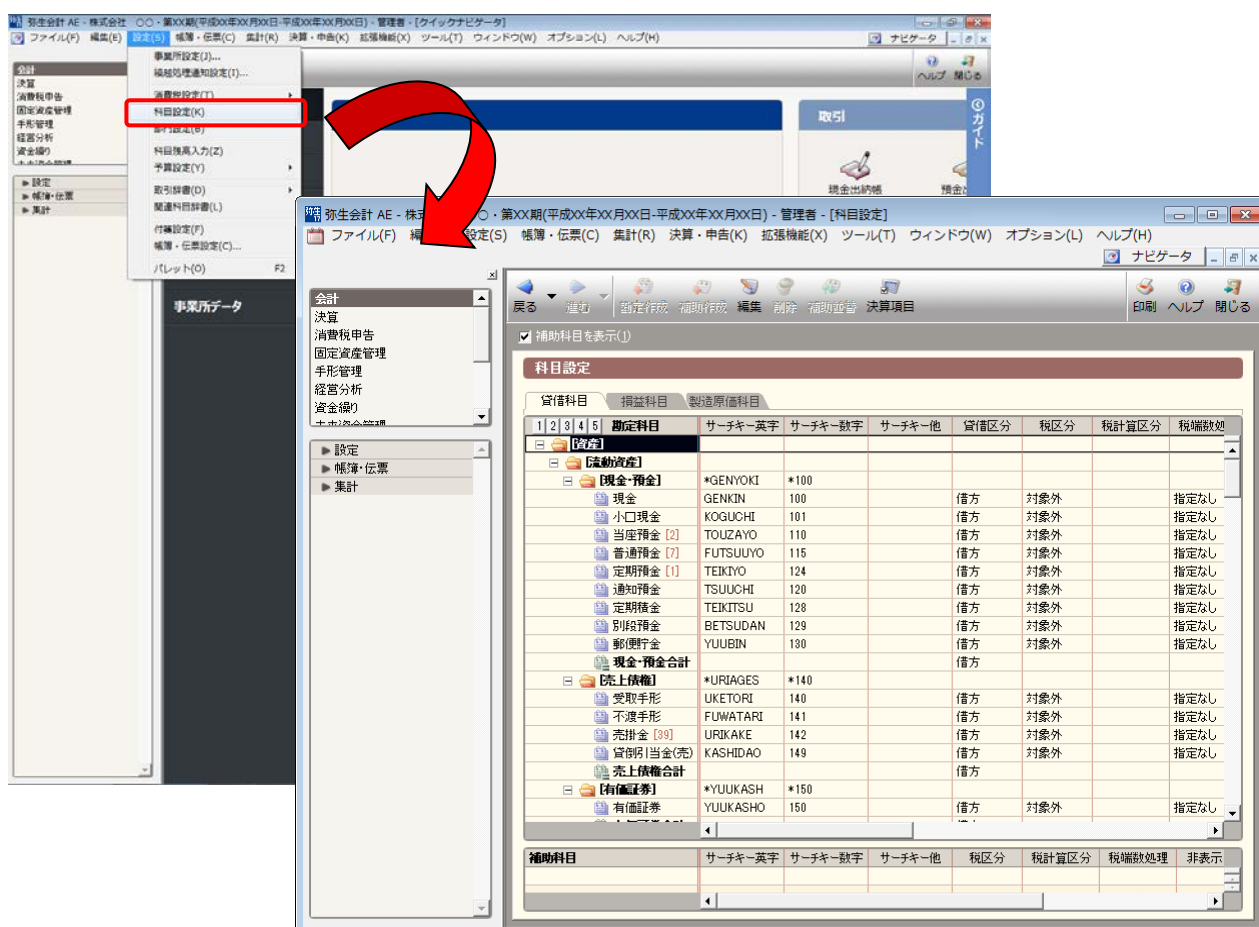
連動直後は「残高取込」画面にのみデータが連動されています。連動後には、「内訳概況書の達人」側で残高取込を行う必要があります。残高取込を各帳票で行うと、各帳票上にデータが取り込まれ表示されます。詳細な手順については『内訳概況書の達人 運用ガイド』－「帳票の作成」－「科目内訳明細書を作成する」－「残高データを使って明細を作成する」をご確認ください。

6.連動対象項目

「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」では、「弥生会計」の科目に対応する金額よりデータを取り込みます。

「弥生会計」から連動するデータ(連動元)

「弥生会計」からはメニューバー〔設定〕－〔科目設定〕で表示される勘定科目及び補助科目並びにそれそれぞれに対応するサーチキー（英字、数字、他のうちいずれか）のデータが連動されます。



注意

連動対象となるサーチキーは、メニューバー〔オプション〕－〔環境設定〕で表示される環境設定ダイアログの「選択」タブで○が付されているものです。

「内訳概況書の達人」に連動するデータ(連動先)

「内訳概況書の達人」に連動する内容は以下のとおりです。次ページ以降の画面(各帳票)の網掛け部分が連動対象項目です。

科目内訳明細書

〔残高取込〕画面

- ・預貯金等の内訳書
- ・受取手形の内訳書
- ・売掛金(未収入金)の内訳書
- ・仮払金(前渡金)の内訳書／貸付金及び受取利息の内訳書
- ・棚卸資産(商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品)の内訳書
- ・有価証券の内訳書
- ・固定資産(土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。)の内訳書
- ・支払手形の内訳書
- ・買掛金(未払金・未払費用)の内訳書【平成18年3月31日以前開始事業年度用】
- ・買掛金(未払金・未払費用)の内訳書【平成18年4月1日以後開始事業年度用】
- ・仮受金(前受金・預り金)の内訳書／源泉所得税預り金の内訳
- ・借入金及び支払利子の内訳書
- ・土地の売上高等の内訳書
- ・売上高等の事業所別の内訳書
- ・役員報酬手当等及び人件費の内訳書【平成18年3月31日以前開始事業年度用】
- ・役員報酬手当等及び人件費の内訳書【平成18年4月1日以後開始事業年度用】
- ・地代家賃等の内訳書／工業所有権等の使用料の内訳書
- ・雑益、雑損失等の内訳書
- ・その他の科目の内訳書①～⑤



注意

連動直後は〔残高取込〕画面にのみデータが連動されています。連動後には、「内訳概況書の達人」側で残高取込を行う必要があります。残高取込を上記の各帳票で行うと、各帳票上にデータが取り込まれ表示されます。詳細な手順については『内訳概況書の達人 運用ガイド』－「帳票の作成」－「科目内訳明細書を作成する」－「残高データを使って明細を作成する」をご確認ください。

[残高取込]画面

残高取込

取込方法

☒ 明細作成(選択した残高を帳票上に新規明細として取込み)

☐ 金額更新(内訳明細に対応した勘定科目の残高のみ取込み)

科目	補助科目	残高
☒ 100 現金		74,681,148
☐ 101 小口現金		0
☐ 110 当座預金		192,515,313
☒	1 北東銀行 築地支店	171,830,077
☒	2 昭和信用金庫 本店	15,074,540
☒	その他	5,610,696
☐ 115 普通預金		55,514,976
☒	1 滙銀行 城西支店	13,106,899
☒	2 赤坂銀行 本店	39,711,402
☒	3 都営銀行 秋葉原支店	271,890
☒	4 小和銀行 城西支店	387,009
☒	5 大阪東銀行 新宿支店	1,320,016
☒	6 六本木銀行 新橋支店	208,970
☒	7 中部銀行 名古屋支店	508,790
☐	その他	0

F1 ヘルプ

F2 閉じる

F4 全消去

F11 全選択

Enter 実行

[illegible]

 買掛金（未払金・未払費用）の内訳書
 【平成 18 年 4 月 1 日以後開始事業年度】

[illegible]

④仮受金（前受金・預り金）の内訳書／源泉所得税預り金の内

[illegible]

借入金及び支払利子の内訳書

[illegible]

7.アンインストール方法

「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1. Windowsのスタートメニュー[コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートボタンを右クリックし、表示されるメニューから「コントロールパネル」をクリックします。

Windows 8.1の場合は、「アプリ」画面に表示されている「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」を右クリックし「アンインストール」をクリックし、手順3に進みます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

3. 「内訳概況書の達人(平成16年度以降)from弥生会計(Ver.23.0.1以降)(内訳書)」をクリックして選択し、「変更」ボタンをクリックします。

「InstallShield Wizard」画面が表示されます。

4. 「次へ」ボタンをクリックします。

「プログラムの保守」画面が表示されます。

5. 「削除」を選択した状態で、「次へ」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

6. 「削除」ボタンをクリックします。

アンインストールが開始されます。

7. アンインストールの完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

以上で、「内訳概況書の達人（平成16年度以降）from弥生会計（Ver.23.0.1以降）（内訳書）」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

『弥生』は弥生株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server、Internet Explorer、Outlook、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe Reader、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載された会社名および製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

本文中、®マークは明記していません。

使用許諾契約書に関しては[こちら](#)をご覧ください。

